



令和 6 年 9 月 26 日

第 39 回岡山県母性衛生学会シンポジウム プレコンセプションケアと包括的性教育を考える 子どもたちの未来に向けて

◆発表のポイント

- ・「プレコンセプションケア」は、糖尿病などの内科的な疾患を持つ女性がより良い状態で妊娠に向かうために行われてきたケアです。しかし現在は、全ての人々が将来の妊娠や子どもを持つことに向けて必要な知識を持ち、健康を維持することを目的とするようになってきています。
- ・このため、ほとんどの人が学ぶことができる中学生や高校生の時期にプレコンセプションについて知ってもらうため岡山県でも取り組みが始まっています。
- ・今回、岡山県母性衛生学会のシンポジウムにおいて、「プレコンセプションケア」、そして、従来の性教育よりも幅広い内容を学ぶ「包括的性教育」のあり方について、学生、養護教諭、助産師など、さまざまな視点から報告していただき、議論します。

東京都が、健康な女性が「今は、適当なパートナーがいない」「今は、仕事を優先したい」などという理由で行う卵子の凍結保存に対して助成制度を作ったところ、予想外に多くの希望者があったことが知られています。「卵子の老化」という言葉が知られるようになり、ライフプランを立てるうえで、年齢と妊孕性（妊娠する能力）との関係を知っておくことが必要になっています。

このように、将来の妊娠を考える場合に必要となる適切な情報獲得と身体や心のケアを行っておくこと、すなわち、「プレコンセプションケア」という言葉も目にするようになってきました。

「プレコンセプションケア」は、糖尿病などの内科的な疾患を持つ女性のために、より良い状態で妊娠に向かうために行われてきたケアです。しかし現在は、全ての人々が将来の妊娠や子どもを持つことに向けて必要な知識を持ち、健康を維持することを目的とするようになってきています。このため、ほとんどの人が学ぶことができる中学生や高校生の時期にプレコンセプションについて知ってもらうことは重要です。

岡山県では、中学生や高校生が妊娠や子どもを持つことも含めたライフプランを立てるうえで、必要な情報を伝えるため、「未来のパパ&ママを育てる出前講座等推進事業」を行っています。また、今年 3 月には、ウェブサイトと連動した親子で学ぶことのできる「プレコンセプション」のパンフレットを作成し、県下の全高校生に配布しました。

今回、岡山県母性衛生学会のシンポジウムにおいて、「プレコンセプションケア」、そして、従来の性教育よりも幅広い内容を学ぶ「包括的性教育」のあり方について、学生、養護教諭、助産師など、さまざまな視点から報告していただき、議論します。



PRESS RELEASE

<開催概要>

1. 名 称 第39回岡山県母性衛生学会学術集会
シンポジウム「プレコンセプションケアと包括的性教育を考える」
2. 日 時 2024年10月12日（土）13：00～16：40（学術集会全体）
3. 場 所 岡山大学（鹿田キャンパス） 基礎医学講義実習棟2階講義室
4. 対 象 者 どなたでも参加いただけます。
5. 申 込 方 法 参加事前申し込みは不要。
6. 参 加 費 用 一般1,000円、学生・研修医500円
※岡山母性衛生学会の会員については、別途年会費が必要です。
無料駐車券あり。

<補足>

詳しい情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

◆研究者からのひとこと

中塚研究室では、多くの研究者や学生がリプロダクションやジェンダーについて研究しています。気軽にご連絡ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>



岡山大学学術研究院保健学域 教授
岡山大学病院リプロダクションセンター センター長
おかやま妊娠・出産サポートセンター センター長

中塚幹也

<お問い合わせ>

岡山大学大学院保健学研究科

教授 中塚幹也

岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局

（電話番号・FAX）086-235-6538

（メール） josan@cc.okayama-u.ac.jp

PRESS RELEASE



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう

